鈴木工業株式会社

2024年度　CSR報告書

当社の2024年カレンダーに採用しております

竹駒神社・夏詣
（岩沼市）

イラスト・佐久間誉之
仙台市出身/水彩イラストレーター
東北生まれ東北育ち
自然豊かな東北の地で培った色彩感覚を用いて、
東北の魅力をイラストレーションを通して発信
しています

SUZUKI

INDEX

01.メッセージ

02.2024年目標（Mission&Objectives）

03.2024年の活動（Activities）

2024年度も、皆様のご支援とご協力のもと、当社は産業廃棄物処理業界における重要な課題に取り組み、持続可能な社会の実現に向けた活動を推進してまいりました。本報告書では、当社の取り組みと成果についてご報告いたします。

本年度、当社は新産業廃棄物処理施設「エコミュージアム21アネックス」を竣工いたしました。本施設は、既存の処理施設と連携し、それぞれの得意な廃棄物を効率的に処理することで、より高いリサイクル率を実現することを目的としています。これにより、廃棄物処理の方法を変革し、資源の有効活用と新たなエネルギーの創出を目指しております。また、本施設は廃棄物投入後の完全自動化が可能なプラントであり、人手不足への対応を考慮した設計となっています。さらに、医療廃棄物処理を得意とし、「高齢化社会」への対応も可能な施設として、地域の生活環境と公衆衛生の向上に貢献できるものと考えております。

産業廃棄物処理業界では、「循環経済（サーキュラーエコノミー）」と「脱炭素社会の構築」が重要なテーマとなっています。2024年8月には「第5次循環型社会形成推進基本計画」が閣議決定され、「脱炭素」と「動静脈連携」が重要な施策として掲げられました。これにより、廃棄物処理の役割は「受け手」から「資源やエネルギーを創り出す存在」へと変化することが求められています。

当社は、社員一丸となって「循環経済（サーキュラーエコノミー）と脱炭素社会の構築」の実現に向けた積極的な取り組みを展開し、地域に根差した「選ばれる企業」となることを目指しております。

今後も、持続可能な社会の実現に向けて、皆様のご支援とご協力を賜りながら、さらなる発展を遂げてまいります。

Message

Mission

2024年度スローガン

Look ahead!
～新時代に向けて～

2024年度は新処理場稼働へ向けて会社全体で様々な準備や動きがあり、その様が新しい鈴木工業の幕開け感を感じるため、「将来を見越す、未来に備える」といった意味があるスローガンとしました。

2024年度のMission

事業成長の促進
持続可能な経営の実現

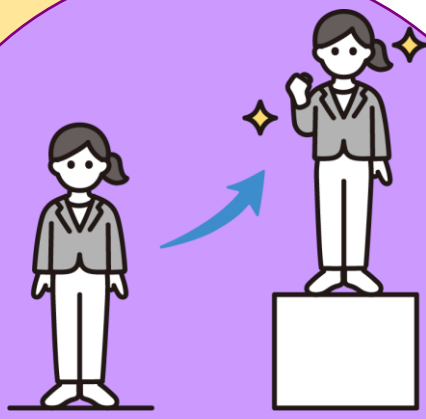
Mission達成のための具体的指針

事業成長の促進

カーボンニュートラル
（脱炭素）の実現

地域貢献

はたらきやすい
職場環境づくり



従業員の
スキルアップ

Objectives

Activities 事業成長の

産業廃棄物処理施設「エコミュージアム21アネックス」竣工

2018年に検討プロジェクトを発足し、様々な観点からの協議、視察等を重ねてまいりました。途中新型コロナウイルス感染症蔓延による中断もありながら、2024年4月に着工。2025年3月、無事に竣工を迎えることができました。施設名は社員公募の結果、「別館」という意味を持つ「エコミュージアム21アネックス」に決定しました。

令和7年3月3日竣工式を行いました

焼却炉は「乾溜ガス化焼却システム」を採用。廃棄物を直接燃焼せず揮発させ、発生した高温のガスを燃焼するため省燃料化できます。バッチ式なので夜間無人化も可能。
可動部を極力抑えた設計になっており、故障リスクが少ないのも特徴です。

保有車両を拡充

今年度、大型ダンプ２台、糞尿車１台、脱着装置付きコンテナ専用車１台、冷凍冷蔵車１台の合計５台を増車。お客様のあらゆるご要望にお応えできるよう、万全の体制を整えております。保有の全車両にドライブレコーダーとバックモニターを完備し、運転状況の可視化と後方確認の徹底を推進し、事故の未然防止および発生時の状況把握に役立てることで、従業員および地域社会の安全に一層配慮してまいります。

保有車両数

54台

促進

許可範囲を拡大

エコミュージアム21アネックスの竣工に伴い、許可品目を追加、処理能力もこれまでの約2倍に増加しました。能力が増えただけでなく、従来のロータリーキルン炉では不可能だった大物の廃棄物の直接投入が可能となり、また苦手だった高カロリーの廃棄物も処理できるため、2種類の焼却炉がそれぞれ得意な廃棄物を処理することで、処理効率向上が期待できます。

焼却許可品目

産廃　15 → 17
（ばいじん、鉱さいの追加）

特管　6 → 7
（ばいじん、特定有害廃棄物の追加）

処理能力

乾溜ガス化炉　22.0t/日

合計焼却能力 40.7t/日

積替え保管施設を設置

焼却炉の適正稼働にはメンテナンスは欠かせません。定期的なメンテナンスや年数回の大規模修繕も、従業員が技術を身に着け、自社で行っています。

メンテナンス期間中もお客様には通常通り廃棄物を搬入いただけるように、これまでリサイクル施設再生館として使用していたスペースを積替え保管施設にリニューアル。

今後、エコミュージアム21アネックスの稼働で処理能力が増加した分にも十分対応できる容量を増設予定です。

積替え保管増設量

保管面積24.75m²

保管上限54.30m³

Activities カーボンニ

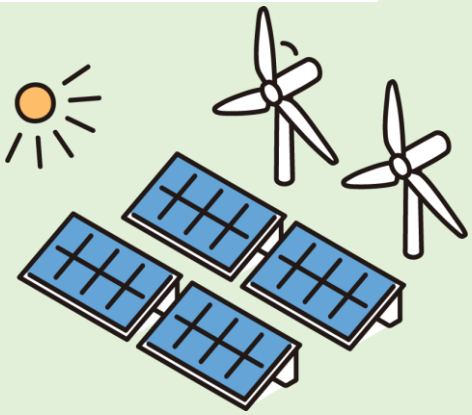
再エネ100宣言　RE Action

企業や自治体などの団体が、使用電力を100％再生可能エネルギーに転換する意思と行動を示すことで市場や政策を動かし、社会全体の再エネ利用100％を促進する枠組みです。

参加団体は、遅くとも2050年までに使用電力を100％再エネに転換することを宣言し、目標年度を定め、毎年進捗状況を報告しています。

2025年度末現在、384団体が参加しており、現在日本全国の再エネ率は約25％です。

鈴木工業では中間目標として2035年までに再エネ率50％を目指しており、現在15％を再エネに転換しています。



再生可能エネルギー使用率

15％

デマンド管理システム活用による使用電力の削減

日々の事業活動におけるエネルギー使用を最適化するため、デマンド管理システムを導入し、きめ細やかな電力マネジメントを行っています。エネルギー使用の平準化を促し、無駄のない効率的な電力消費を実現することで、温室効果ガス排出量の削減にも繋がります。

今後も継続的なデマンド管理を通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

今年度目標達成率（平均）

	本社	EM21
デマンドピーク値	136.4％	107.3％
電力使用量	114.4％	96.8％

ュートラル(脱炭素)の実現

仙台市温室効果ガス削減アクションプログラム

2022年度から参加しているアクションプログラム。自社の温室効果ガス排出量を見える化し、その実績に基づいた3年間の削減計画を立てて、計画的かつ継続的に温室効果ガス及びエネルギーコスト削減を目指すプログラムです。すでに2025年度の目標排出量よりも削減できていますが、引き続き温室効果ガス削減に努めてまいります。

	本社	EM21
基準(2022年度)排出量	610.9 t-CO_2	354.4 t-CO_2
2025年度目標排出量	580.0 t-CO_2	336.4 t-CO_2
2024年度排出量	564.3 t-CO_2	320.9 t-CO_2
削減率	7.62%	9.45%

EV車・ハイブリッド車への入れ替え

毎年入れ替えを進めてきた営業車ですが、さらにハイブリッド車2台、電気自動車1台追加し、全9台中8台がエコカーになりました。アイドリングストップやふんわりアクセルなど、エコドライブを心がけ、さらなる環境負荷低減を目指します。

平均燃費

2024年度 → 2025年度

19.9km/L → 33.0km/L

Activities 地域貢献

さまざまな取り組みに

企業としての社会的責任を果たすため、地域のさまざまな取り組みに参加、協賛しています。

清掃ボランティア

健全育成支援活動

仙台89ers様にご協力いただき、仙台城南高等学校様に練習用バスケットボールを寄贈しました

消防団協力事業所優良

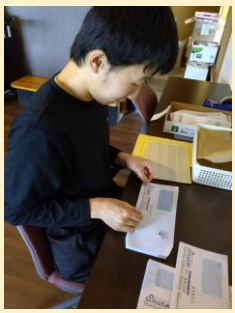
杜の都ハートエイド

かわら版の印刷・封入を「悠優会」さんにお願いしています

2010年7月から、鈴木工業の情報を発信している季刊誌「かわら版」。みなさまからご好評いただき、おかげさまで先日第57号を発刊いたしました。

このかわら版の、印刷、封入、宛名シール印刷・貼り付けなどの作業を「一般社団法人悠優会　就労継続支援b型事業所 And You マズロ」のみなさまにお願いしています。

いつもていねいにお仕事をしてくださり、とても助かっています。今回は、請求書やマニフェストをお送りする窓付き封筒の弊社住所欄にアネックスの情報を追加したシールを貼る作業もお願いしました。



参加、協賛しています

新一年生の交通事故防止活動

贈ろう！
黄色い手帳

宮城県内の交通死亡事故をなくすことを目的とした交通安全啓蒙活動

みやぎ交通事故
ゼロキャンペーン

宮城県主導で環境保全や持続可能な社会づくりを目指す総合的な環境キャンペーン

あしたのみどり
キャンペーン

仙台市が発行している防災ハンドブック

サバ・メシ
防災
ハンドブック

仙台市とアメニティ・せんだい推進協議会が発行している3R推進ハンドブック

3R
わかる本

お客様のお困りごとを解決しています

鈴木工業の仕事は、地域のみなさまが安心、安全にあたり前の暮らしができるようサポートすることです。令和6年度の緊急対応件数は、143件。排水の詰まりや設備不良などに対応いたしました。

産業廃棄物の受入総量は15,779.786ｔと前年度比103.23％の廃棄物の処理を行いました。

減容率は78.8％、リサイクル率は67.7％と例年同様の結果となりました。これからも優良産廃処理業者として、地域のみなさまに選ばれる企業を目指し、迅速対応、適正処理を心がけてまいります。

緊急対応件数

143件

産業廃棄物受入総量

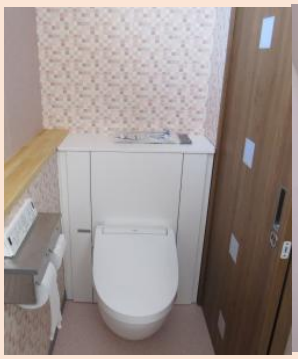
15,779.786t
（前年度比103.23％）

優良産廃処理業者認定制度に係る公表事項はこちらから

Activities はたらきや

女子更衣室内にロッカーとトイレを増設、仮眠室を拡大

昨年度、女子シャワールームを新設しましたが、今年度はさらに来客用とは別に従業員専用のトイレを女子更衣室内に増設しました。ロッカールームのスペースも新たに設け、休憩室をより広く快適に使えるようになりました。



これまで男子更衣室内にあった仮眠スペースを仮眠室として新設しました。室内にはマッサージチェアを設置し、休憩時間に足を延ばしてくつろげるようになりました。

今後も快適な職場空間づくりを進めてまいります。

「幸せデザインサーベイ」第2回ワークショップを行いました

従業員が幸せな気持ちで働くと会社の成長につながり、より従業員が幸せに働けるという考えのもと、昨年度から始まった「幸せデザインサーベイ」。今年度は現場で働く若手社員を対象に、部署ごとのグループでワークショップを行いました。

マインド、カラダ、マネジメントなど5つの観点から会社の現状について率直な意見が発表され、どんな会社にしていきたいか、どうしたらより幸せに働ける会社にできるかを考えました。

普段は口に出しづらい気持ちを発表し、幸せな職場環境について考えることで、あらためて「会社」や「働く」ことを考え直すことができました。今後はマネジメント層を対象にしたワークショップや、具体的な取り組みの検討などを行い、「幸せな会社」を目指してまいります。

すい環境づくり

ワークライフバランス指標・DXの取り組み

従業員のワークライフバランスに関連する指標はこちらです。

有給取得率 71.4%　**平均残業時間** 20.17時間

平均有給取得日数 13.4日　**育児休業取得率** 100%

給与明細を電子化し、年末調整もWebで行えるようになりました。事務担当者の作業効率が向上し、従業員もいつでもどこでも明細を確認できるため、保管の手間や紛失の心配がなくなりました。

健康経営優良法人として様々な宣言をしています

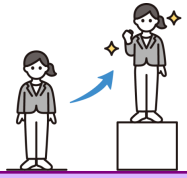
当社は、従業員一人ひとりが心身ともに健康で最大限のパフォーマンスを発揮できるよう、「健康経営」を推進しており、その取り組みについて、様々な企業認定を受けています。

受動喫煙防止宣言

職場健康づくり宣言

仙台「四方よし」宣言

Activities 従業員のス



資格･免許取得状況

従業員の知識・技術力向上のため、資格取得補助制度を設け、スキルアップの支援を行っています。記載以外にもeラーニングを活用した基礎学習の機会などを幅広く提供しています。

資格・免許	取得者数	取得者総数
大型自動車免許	2	28
中型自動車免許	1	64
公害防止管理者　ダイオキシン類	1	2
危険物取扱者　乙3	1	5
危険物取扱者　乙5	1	3
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	11	52
貯水槽清掃作業従事者	5	30
建築物排水管清掃従事者	1	8
建築物排水管清掃技師	1	5
テールゲートリフターの操作	5	25
フォークリフト運転技能講習	4	46
車両系建設機械運転技能講習(解体)	3	12
車両系建設機械運転技能講習(整地)	3	20
廃棄物処理施設技能管理者講習 産業廃棄物焼却施設コース	1	3
ダイオキシン類作業従事者	10	23

※この他にも多くの資格について保有者が多数おります

キルアップ

社内研究会の実施

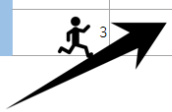
今年度は安全大会の他に4回の社内研修会を行いました。
「令和6年度事業計画」「BCP図上訓練」「ITリテラシー」「電源確保訓練」など、様々なテーマで研修を行い、知識及び技術力向上に努めています。
「エコミュージアム21アネックス説明・見学会」では焼却炉メーカーで研修を受けた社員が講師となり、施設の概要、構造、運転方法などの講義を行い、出来上がったばかりの施設を見学しました。

スキルマップ活用による力量評価

スキルマップとは、「社員一人ひとりが、どんな能力（スキル）をどれくらい持っているかを一覧でわかりやすくまとめた地図」のことで、業務部員の能力を把握するために導入しました。誰がどんな強みを持っていて、どんなことができるのか一目でわかるため、チームとして足りないスキルや、特定のスキルに偏りがある部分を知ることができ、全体的な底上げやバランスの改善につなげられます。

自己評価と上長評価を行うことで、相互のギャップも明確になり、社員自身が自分の現在のスキルレベルと、目指すべきスキルの目標を把握できるので、成長にもつながります。

Name	WORK1	WORK2	WORK3	WORK4	WORK 5
A	5	4	5	4	5
B	4	5	4	5	3
C	5	2	5	2	2
D	3	3	3	2	1



今後、他部署にも展開し、個人の成長とチーム・組織全体の強化を図り、より効率的で質の高いサービスの提供を目指してまいります。

本社

〒984-0002 仙台市若林区卸町東五丁目3番28号
TEL 022-288-9201　FAX 022-288-9293
E-mail info@suzukitec.co.jp

エコミュージアム21 〈産業廃棄物 処理施設〉

〒983-0007
仙台市宮城野区仙台港北二丁目14番地の3
TEL 022-254-0091　FAX 022-258-0403

エコミュージアム21アネックス

〈産業廃棄物 処理施設〉

〒983-0007
仙台市宮城野区仙台港北二丁目13番地の8
TEL 022-254-0091　FAX 022-258-0403

再生館 〈産業廃棄物積替え保管施設〉

〒984-0002 仙台市若林区卸町東四丁目4番25号
TEL 022-287-0039　FAX 022-288-9293

https://www.suzukitec.co.jp/

2025年6月発行